

豊明市地域公共交通ネットワークの形成について

豊明市地域公共交通網形成計画（以下「網形成計画」という。）では、本市がめざすまちの未来像の実現を支援する交通将来像として、鉄道、路線バス、コミュニティバス及びタクシー等の多様な公共交通が相互に連携し、市民の市内外の日常的な生活行動や地域の移動ニーズに応じた公共交通ネットワークを形成することで、「公共交通が人と人をつなぐしあわせのまち」をめざすこととしています。

ひまわりバスの路線再編や、予約型乗合交通である「チョイソコとよあけ」をはじめとした地域路線の導入等を踏まえ、本市公共交通ネットワーク形成に向けた考え方を再度整理します。

①公共交通の機能分類

地域公共交通ネットワークの形成にあたっては、本市の公共交通を路線機能に応じ、「都市間幹線」「広域幹線」「市内幹線」「拠点連絡路線」「地域路線」の5種類に分類し、公共交通相互が連携を図ることで、その路線機能を補完します。

表 公共交通の機能分類

機能分類	路線機能
都市間幹線	鉄道が都市間幹線として機能します。 本市と名古屋方面、豊橋方面の市町を結び、通勤、通学、買物、観光等の広域的な移動ニーズに対応します。 【該当路線：名古屋鉄道名古屋本線】
広域幹線	路線バスが市域を超えた広域交流需要に対応します。 本市と名古屋市、東郷町、日進市等を結び、通勤、通学、買物、通院等の都市間の移動ニーズに対応します。 【該当路線：名鉄バス（赤池駅行、徳重駅行）】
市内幹線	路線バスが市内の拠点間相互を連絡します。 都市拠点をはじめとした拠点相互を結び、通勤、通学、買物、通院等の移動ニーズに対応します。 【該当路線：名鉄バス（藤田保健衛生大学病院行、勅使台行、豊明団地循環、吉池団地循環）】
拠点連絡路線	コミュニティバスが拠点間相互を連絡します。 市内各拠点間及び市内主要施設を結び、買物、通院等の地区間の移動ニーズに対応します。 【該当路線：ひまわりバス】
地域路線	地域と各拠点を結び、広域幹線、市内幹線、幹線拠点、連絡路線に接続します。各地域のニーズに応じた移動手段により、地区内の様々な移動ニーズに対応します。 【該当路線：地域路線（例：「チョイソコとよあけ」）】

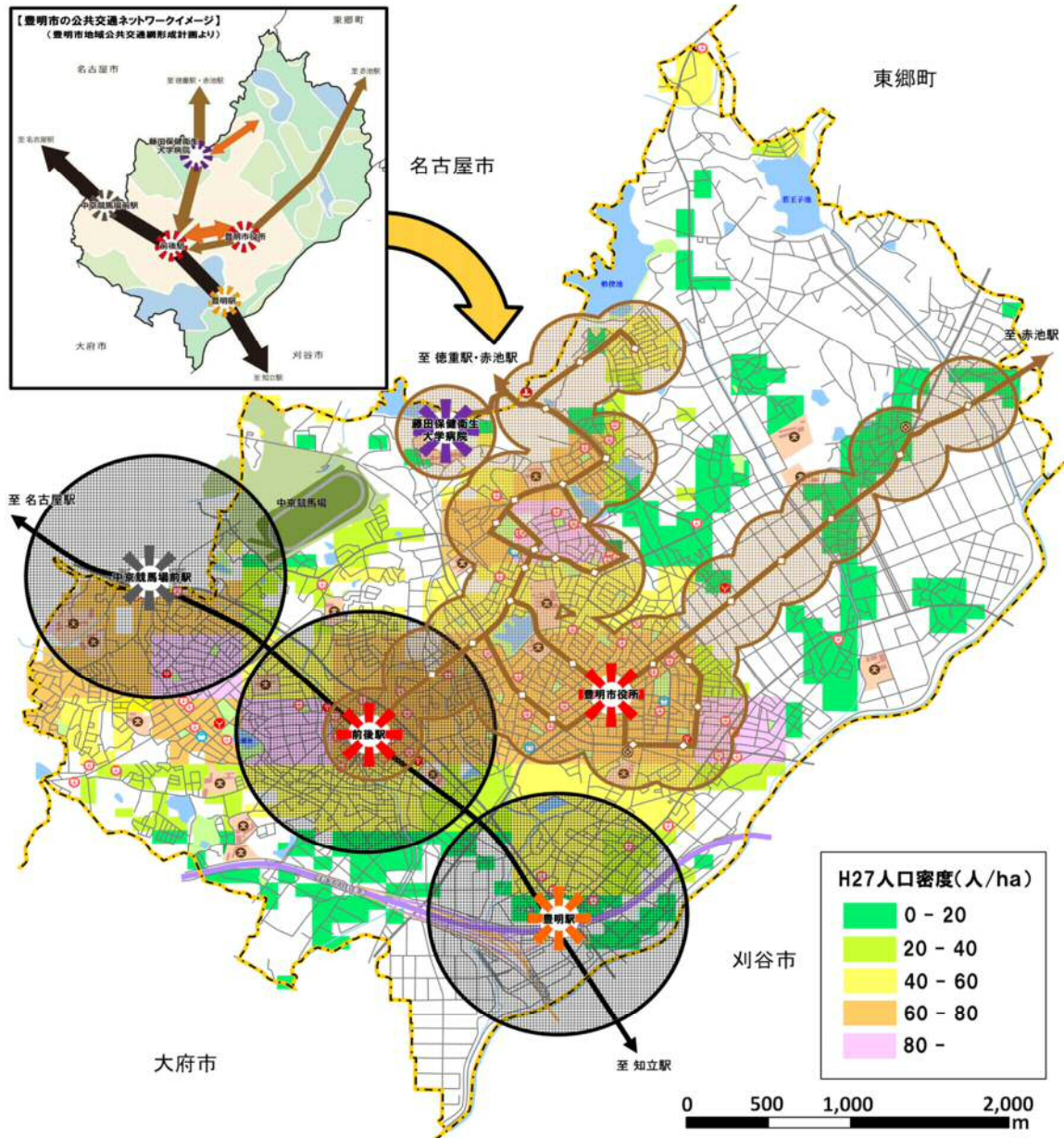
②地域公共交通ネットワークの形成方針

網形成計画の地域公共交通の基本方針に基づく、地域公共交通ネットワークの形成方針を以下に示します。

【地域公共交通ネットワークの形成方針－1】

▶ 都市間幹線、広域幹線及び市内幹線は、各路線の機能を維持します。

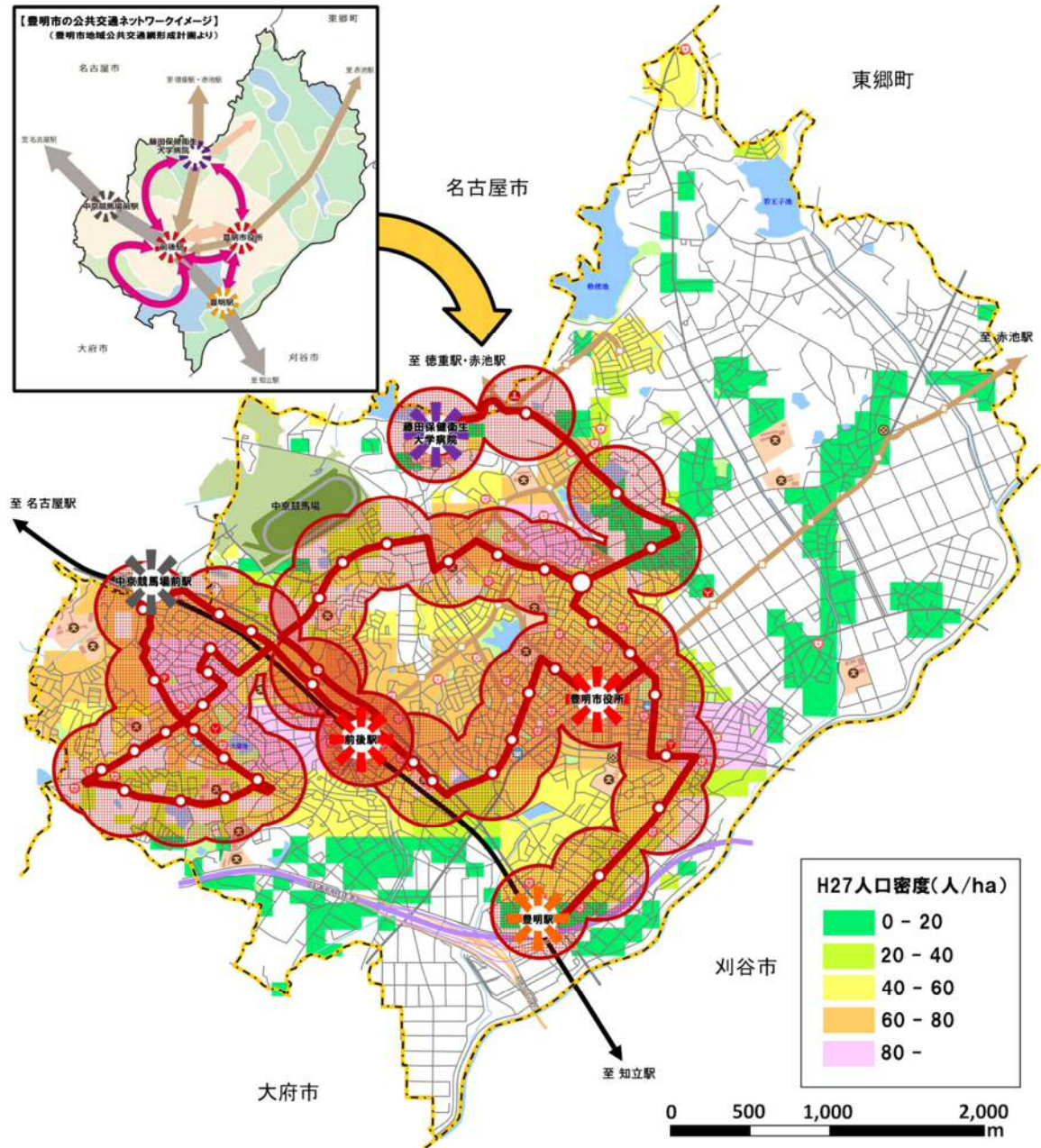
図 地域公共交通ネットワークの形成方針－1



【地域公共交通ネットワークの形成方針－２】

▶ 拠点連絡路線は、豊明市役所周辺の商業施設、名鉄前後駅、藤田保健衛生大学病院といった市内の各拠点及び主要施設と、人口密集地を密に循環する路線とします。

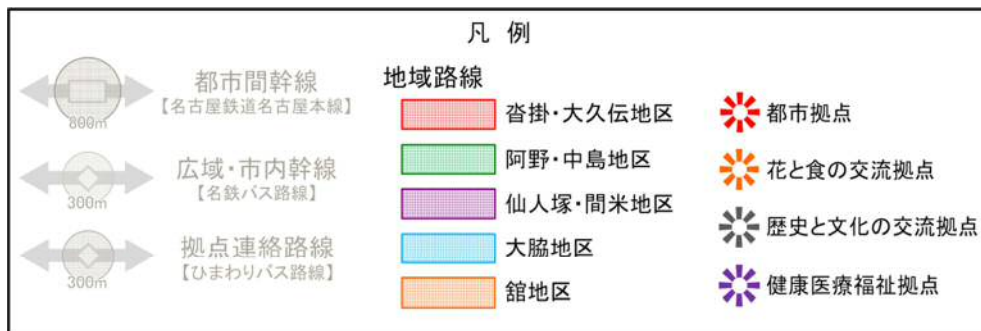
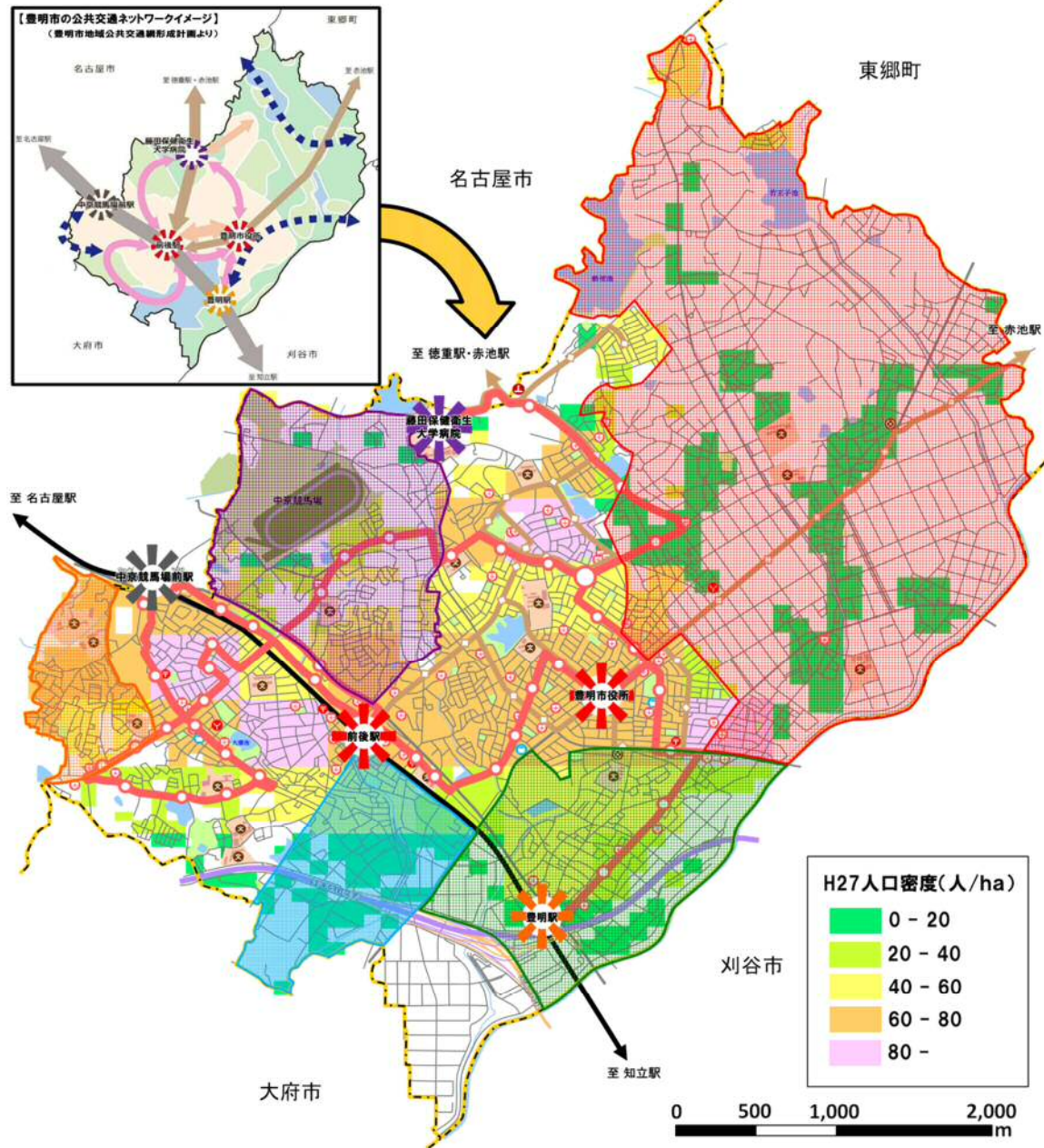
図 地域公共交通ネットワークの形成方針－２



【地域公共交通ネットワークの形成方針－3】

▶ 地域路線は、地域が主体となって各地域の移動ニーズに応じた運行方式を検討し、地域と行政が連携して運行します。また、生活圏を考慮して、隣接市町への乗り入れを検討します。

図 地域公共交通ネットワークの形成方針－3



【豊明市における地域公共交通のネットワークイメージ】

地域公共交通ネットワーク形成方針より、豊明市における地域公共交通ネットワークイメージを以下に示します。

図 豊明市における地域公共交通のネットワークイメージ

